

# 平成22年度春の叙勲受章者

4月28日に褒章受章者が、翌29日に叙勲者が発表され、当会から以下の方々  
が叙勲・褒章受章の栄に浴されました。心よりお慶び申し上げます。

## 叙勲者の横顔



瑞宝小綬章 (通産行政事務功労)

なが の まさ き  
長 野 正 紀

### 学歴・職歴

昭和38年 中央大学工学部電気工学科 卒業, 昭和38年 特許庁 入庁, 昭和42～53年 審査官, 昭和53～56年 審判官, 昭和56～58年 上席審査官, 昭和58～59年 上級審判官, 昭和59～62年 審査長, 昭和62年～平成4年 審判長, 平成4年 特許庁退官,  
(現在) 長野特許事務所

### 弁理士会歴

平成4年弁理士登録(10259号), 平成16～18年 知財・流通流動化検討委員会 委員, 平成18～22年 知的財産価値評価推進センター 運営委員, 平成21～22年 関東支部 支部幹事

### 公 職

平成53年～62年 弁理士試験臨時委員, 平成16年～22年 裁判所専門委員

### 賞

### 受賞に浴して

この度、叙勲の栄に浴し、多くの方々からお祝辞を頂き、妻と共に大変嬉しく光栄に存じます。また、公務員であった亡き父、母も喜んでいる事と思っています。これもひとえに、先輩、同輩、後輩の皆様方の温かい御支援のお陰と感謝致しております。

今後は、知的財産制度と弁理士制度の発展に尽くす所存でございます。



## 瑞宝小綬章 (通産行政事務功労)

たけ い ひで お  
**武 井 英 夫**

### 学歴・職歴

昭和 38 年 日本大学理工学部工業化学科 卒業, 昭和 38 年 特許庁 入庁, 昭和 42 ~ 50 年 審査官, 昭和 50 ~ 52 年 審判官, 昭和 52 ~ 57 年 審査官, 昭和 57 ~ 61 年 審査長, 昭和 51 ~ 63 年 研究休職 (発明協会), 昭和 63 年 ~ 平成 5 年 審判長, 平成 5 年 特許庁退官,  
(現在) 清栄特許事務所

### 弁理士会歴

平成 5 年 弁理士登録 (10343 号), 平成 9 ~ 10 年 「弁理士業務の実態及び意識調査」 支援委員会 委員, 平成 12 ~ 13 年 常議員会第二委員会 委員, 平成 12 ~ 14 年 弁理士会常議員, 平成 13 ~ 14 年 常議員会第一委員会 委員

### 公 職

### 賞

平成 14 年 日本弁理士会特別功労表彰

### 受賞に浴して

この度は、はからずも叙勲の榮に浴し、身に余る光榮に存じます。

これもひとえに特許庁在職中の先輩、同僚、後輩の方々、お世話になった弁理士の皆様、並びに推薦して下さった関係者の方々のご支援、ご指導、ご鞭撻の賜物であると深く感謝申し上げます。

また、この度の受章に当たり早々と弁理士会をはじめ各種団体の方々よりご丁寧なる祝意をいただきましてまことに有難うございました。

振り返ってみますと、特許庁に入庁以来、30 年弱、特実の審査・審判の業務に携わり、行く行くは弁理士になることに決めて業務に精励しました。その間、(社)発明協会にお世話になり、大変有意義な経験をさせて戴きました。

退職後は先輩弁理士の事務所にお世話になり、以来 17 年余、弁理士として業務に励み、現在に至っております。

この度の受章を人生の一つの区切りとし、今後も弁理士業に励み、微力ではありますが知的財産制度の発展に寄与したいと思いますので、これまでと同様のご支援、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い致します。



## 瑞宝小綬章 (通産行政事務功勞)

あら さき かつ み  
荒 崎 勝 美

### 学歴・職歴

昭和 38 年 東海大学工学部応用理学科 卒業, 昭和 38 年 特許庁 入庁, 昭和 42 ~ 49 年 審査官, 昭和 49 ~ 50 年 審判官, 昭和 50 ~ 52 年 環境庁 (出向), 昭和 52 ~ 56 年 審査官, 昭和 56 ~ 59 年 審査長, 昭和 60 ~ 61 年 審判長, 昭和 61 ~ 63 年 主席審査長, 昭和 63 年~平成 2 年 審判部書記課長, 平成 2 年~4 年 審判長, 平成 4 年~5 年 首席審判長, 平成 5 年 特許庁退官,  
(現在) 荒崎特許事務所

### 弁理士会歴

平成 5 年 弁理士登録 (10412 号)

### 公 職

### 賞

### 受賞に浴して

この度は、叙勲の栄に浴することができ、身に余る光栄です。

これも、皆様方からの長年にわたるご支援、ご指導の賜物であり、深く感謝しているところです。また、今回の受賞に際し、弁理士会を始め弁理士関係の多くの団体からご丁寧なる祝意を頂き、誠にありがとうございました。

特許庁入庁から退官までの 30 年余りの大部分は審査、審判に関する直接的な仕事でしたが、間接的な仕事、事務系の仕事にも関係することができ、また、環境庁での 2 年間で予算案の作成、法律案の作成、国会審議の質問取りと答弁書の作成などの審査官、審判官では経験のできない多くの仕事も経験をすることができた上に勲章も頂き、感謝しているところです。

この度の叙勲を励みに今後一弁理士として、一国民として社会のために微力を尽くしたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。



## 瑞宝小綬章 (通産行政事務功労)

みやざき よしお  
宮崎 嘉夫

### 学歴・職歴

昭和 39 年 東京理科大学理学部物理学科 卒業, 昭和 39 年 特許庁 入庁, 昭和 43 ~ 54 年 審査官, 昭和 54 ~ 55 年 審判官, 昭和 55 ~ 58 年 審査官, 昭和 58 ~ 60 年 審査長, 昭和 60 ~ 62 年 審判長, 昭和 62 ~ 63 年 総務部資料整備課長, 昭和 63 年~平成元年 総務部特許情報企画課長, 平成元年~平成 2 年 審判長, 平成 2 ~ 3 年 審査長, 平成 3 ~ 4 年 審判長, 平成 4 ~ 5 年 工業所有権研修所所長, 平成 5 年 特許庁退官,  
(現在) 専特許事務所

### 弁理士会歴

平成 5 年 弁理士登録 (10414 号)

### 公 職

昭和 62 年, 平成元年 弁理士審査会臨時委員, 平成 4 ~ 5 年 弁理士審査会委員

### 賞

### 受賞に浴して

このたび, 平成 22 年春の叙勲の栄に浴し, 身に余る光栄に存じます。皆様方のご支援, ご鞭撻の賜物と心より感謝申し上げます。叙勲に際し, 日本弁理士会筒井大和会長および会員の方々からご祝辞をいただきありがとうございます。ありがとうございました。

特許庁には, 東京オリンピック開催の年に入庁しました。大量出願の時代でしたが, 審査業務以外に, ペーパーレスシステムのさきがけとなる特許情報システムの開発や, 団体の設立, また, 出向時に医療情報システムの開発に携わることができたことは幸運であり, また, その経験はその後, 種々の点で役立ちました。また, 総務部での業務は, 審査業務を周囲から支えるもので, 三極特許庁の共同作業もあり, 貴重な経験でした。さらに研修所では, 職員の入庁時から管理職までの研修に携わり, 人の養成について考えさせられました。翻ってみますと, 近年の産業財産権制度の運営は, コンピュータ関連技術の発達によるところが多いと思われます。

退職後は, 現特許事務所で, 弁理士として相談や, 出願からの裁判までの一連の業務に携わっております。傍ら, 東京理科大学の工学部や大学院で特許関連の講師を 10 年近く務めましたが, 知財教育の難しさを感じております。

今後も一弁理士として精進するつもりでおりますので, よろしくお願い申し上げます。